

**【取扱注意】**  
**県準備委員会による公表まで非公開**

R3.11.18  
臨時部長会議

# 令和10(2028)年 第82回国民スポーツ大会の実施競技について



写真:2018年 福井国体報告書より



写真:関市(2012年岐阜国体競技開催地)広報より

令和3年 11月

文化スポーツ振興部スポーツ課国民スポーツ大会準備室



## 長野市の競技開催予定

- 競技の選定に先立ち、本市では「競技及び施設選定の基本方針」を決定(平成30(2018)年7月2日 決定)、競技団体や長野県準備委員会等と調整を行ってきた。

- 1 本市における大規模な大会開催実績が豊富にあり、競技団体と市の連携が十分にとれること。
- 2 競技が市民に広く親しまれており、国体開催のレガシーが残ることが期待できること。
- 3 競技の開催要件を満たす施設があること。また、開催を機に利便性向上や長寿命化等の整備が見込め、本市のスポーツ振興に資する施設として残ること。

- 現在までに本市での開催が内定している本大会の競技は以下のとおり。

※ 参加人数は過去大会要項等を参考に算出

競技名・種目名		種別	実施予定会場	決定状況	参加人数※	備考
水泳	競泳 飛込 水球 アーティスティックスイミング	全種別	アクアウィング	第一次選定(2018.11.9)にて内定	約1,700	9月開催 (会期前大会)
バスケットボール		全種別	ホワイトリング 長野運動公園総合体育館 南長野運動公園総合体育館	第一次選定(2018.11.9)にて内定	約1,000	10月開催
高等学校野球		硬式	長野オリンピックスタジアム 長野運動公園県営野球場	第一次選定(2018.11.9)にて内定	約400	10月開催
サッカー		成年女子	長野Uスタジアム ほか	第二次選定(2019.7.31)にて内定	約260	10月開催
ボウリング		全種別	ヤングファラオ	第二次選定(2019.7.31)にて内定	約400	10月開催

## 長野市での競技開催を検討している競技

- 平成30(2018)年の競技開催市町村選定開始以降、競技団体から本市での開催要望があったものの「競技及び施設選定の基本方針」に合致しないことや、施設整備・競技会開催の財政負担を考慮し、断った競技が複数存在する。
- 現在、長野県準備委員会から開催の検討を依頼されている競技は以下のとおり。

### ■ 体操（競技）

- 競技会場(希望)：ホワイトリング
- 県準備委員会からの検討依頼：平成30(2018)年12月6日
- 競技の概要：
  - ・男子は「ゆか・あん馬・つり輪・跳馬・平行棒・鉄棒」の6種目、女子は「跳馬・段違い平行棒・平均台・ゆか」の4種目の演技が行われ、技の難易度(Dスコア)と技の完成度(Eスコア)の2つの基準で採点される。
  - ・国スポでは1チーム5人が各種目を演技する団体競技が行われ、各種目の上位4人の持点総合計で順位を決する。



写真:2019年 茨城国体報告書より

### ■ ライフル射撃（CP）

- 競技会場(希望)：長野県警察学校射撃場
- 県準備委員会からの検討依頼：令和2(2020)年12月14日
- 競技の概要：
  - ・ライフル射撃の種目のひとつで、CPとはセンター・ファイア・ピストルの略。
  - ・片手で銃を持ち、立ったままで25m先の標的を撃ち、的中した点数によって勝敗を競う。
  - ・実弾を使うため、選手はほとんどが警察官か自衛官で、会場も警察学校射撃場で行われることが通例になっている。



写真:2012年岐阜国体競技会場  
(関市広報より)

## 体操(競技)の受入れについて

### ■ 長野県準備委員会事務局の見解

「体操競技は国民スポーツ大会の花形競技であり、何とか県内開催をしたい。」

※ 長野県体操協会は全種目(競技・新体操・トランポリン)のホワイトリング開催を希望

### ■ 現況および課題

- オリンピックをはじめとする国際大会での日本代表選手の活躍もあり、人気のある競技である。
- 前回(昭和53(1978)年)のやまびこ国体でも本市で体操(競技・新体操)が行われたことから、長野県体操協会の中心となっており現在でも幼少年代からのクラブや、文化学園長野中学・高等学校の体操競技部、長野東高等学校の体操部などが活動している。
- やまびこ国体開催を機にホワイトリングの前身である長野市民体育館に体操練習場が設置され、競技振興の拠点となった。現在、体操練習場はホワイトリングのサブアリーナ(半面)に受け継がれている。
- ホワイトリングに大会・試合の開催希望が集中しているため、サブアリーナ半面が常時体操練習場となっていることの弊害が目立つようになっている。

〈例〉 令和3年度全国高等学校総合体育大会(インターハイ) 柔道競技

・サブアリーナ半面だけでは選手控え場所が足りず、近隣の真島小学校の体育館を借用

- 国民スポーツ大会時、ホワイトリングではバスケットボールの開催を予定しており、通常の会期(10月)での開催は不可能である。
- 長野県体操協会の希望する「全種目(競技・新体操・トランポリン)の長野市開催」は開催経費の財政負担が大きい。

## ■ 受入れにあたっての条件

### ■ 体操練習場関係

ホワイトリングに集中する試合・大会開催需要に応えるため、サブアリーナの体操練習場を移転し、本来のアリーナ面積を確保し、施設性能をフル活用できるようにすること



長野県体操協会は「他に体操練習場が整備された場合はホワイトリングから移転すること」を承諾

- ・現在、建替えを検討している長野運動公園総合体育館に体操練習場の機能を持たせることができるか検討
- ・他の社会体育館等への移転は、体操ピットの設置や天井高等の改築に相当の経費がかかり、補助金等の特定財源も見込むことができない

### ■ 競技会開催関係

会期前大会(9月)での開催とすること  
※バスケットボール開催のため通常会期(10月)では不可能



長野県準備委員会事務局、長野県体操協会とも会期前大会での開催を了承

開催経費の負担を軽減するため、新体操・トランポリンは他の自治体で開催すること



長野県準備委員会事務局を通じて交渉  
 → 新体操：千曲市が受入れを決定  
 → トランポリン：須坂市が受入れを決定

体操(競技)の受入れを長野県準備委員会に回答

(参考) 開催経費・参加人数等見込み ※2019年茨城国体 日立市実績より(人数は期間中の延人数)

開催経費(市負担分/会期4日)	選手・監督	大会関係者	観覧者	期間中宿泊者数
約39,000千円	約700人	約2,000人	約10,000人	約3,500人

## ライフル射撃(CP)の受入れについて

### ■ 長野県準備委員会事務局の見解

「実弾を使う競技であり、各県とも警察学校射撃場で開催している。本県でも何とか県内開催をしたい。」

※ 長野市で開催できないと近県の警察学校射撃場を借用することになる

### ■ 現況および課題

- 前回(昭和53(1978)年)のやまびこ国体でも本市で競技が行われたが、実弾を使う競技であるため、その後の競技振興は行われていない。
- 特殊な競技であるため、本市の定める「競技及び施設選定の基本方針」に合致しない。
- 会場は長野県警察学校射撃場(長野市松代町)に限定されるため、開催にあたっては長野県警察の協力が不可欠である。

### ■ 受入れにあたっての条件

競技会の実施にあたり長野県警察の協力が得られること



警察学校施設の貸出しや競技役員の派遣等、先催県と同様に協力を行う

長野県警察学校の大会開催に必要な改修等について、本市は関与しないこと



警察学校射撃場施設の改修を行う場合は、県が整備を行い、費用も県が負担する

競技開催に必要な臨時仮設整備について、県との費用負担割合の見込みを示すこと



臨時仮設整備費を含む運営対象経費の3分の2を県が負担(補助)する方向で検討している

ライフル射撃(CP)の受入れを長野県準備委員会に回答



競技・施設の特殊事情や長野県警察等との関係を考慮

(参考) 開催経費・参加人数等見込み ※2019年茨城国体 茨城町実績より(人数は期間中の延人数)

開催経費 (市負担分/会期3日)	選手・監督	大会関係者	観覧者	期間中宿泊者数
約12,500千円	約170人	約740人	約1,700人	約900人(推計)

## 今後の日程

月 日	項 目	備 考
11月18日	臨時部長会議	資料等、県準備委員会による公表まで非公開
11月22日	政策説明会 (報告)	
~12月末	長野県準備委員会に開催受入れを回答	
~1月中旬	長野県準備委員会による調整	競技団体・市町村の調整
1月~2月	長野県準備委員会による競技会開催市町村の選定(第6次)・公表	

なお、今回の受入れ以降は正式競技の受入れは行わないこととする。